NIE実践報告

1．タイトル：**わたしたちの大運動会新聞をつくろう**

2．学校名

熊本県植木町立田底小学校

3．実践者名（代表者名）

島田美彦

4．学年

第6学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間(情報)　27人

6．単元（本時の学習課題）名

「記者になろう！　新聞をつくろう！」

7．目標(狙い)

自分の書いた記事に責任をもち、自分の立場や読み手の意識を考えながら新聞記事の修正・改善を行う。

8．評価の視点

「Ｘスタイル(記事の配置)]「見出し」「5W1H」等の表現や人を傷つける表現に気付き、改善しようとすることができる。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

総合的な学習の時間(情報)　8時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①新聞記事に自分たちの運動会の様子をまとめることを知る。(1時間)
②新聞にまとめるための資料を収集する。(1時間)
③GT（新聞社)の方から、新聞づくりについて留意することを聞く。(1時間)
④コンピュータを使い、新聞作成にあたる。(3時間)
⑤作成した記事を修正し、改善する。(1時間)
⑥できた記事を掲示し、互いの新聞記事を読み合い、感想を書く。(1時間)
(留意点)

- **ICTの使い方が分からない児童には適宜指導を行う。**
- **運動会に関する友だちの取り組みや心構えにも着目させたい。**
- **GTの方には、新聞づくりに関する技術的なこと（縦書き、横書き、字体、大きさ等）や個人情報に関すること、情報モラルの留意点などについて話の中に入れていただくようにする。**
- **自分たちで作成する新聞記事のバランス、見やすさ、情報モラルについて意識させたい。**

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・新聞を使った授業を何回か受けて、新聞を番組だけではなく、政治・経済、文化面等を見るようになった。
・新聞記事の一面をつくるのに、こんなに多くの工夫、時間、努力が必要だなんて知らなかった。
・書いたものは残るものなので、人を傷つける表現を絶対しないように気をつけなければならない。

12．成果と課題

本単元は「情報活用の実践力」「情報の科学的な理解」「情報に参画する態度」の育成をねらったものであったが、自分たちで取材し情報を集め、精選していく活動の中で個人情報保護や情報モラルの視点をもたせながら活動を行わせていった。そのため、いったん外部に出た情報は取り返しのつかない状況になるということに気付くとともに、相手意識をもち、人権感覚を磨いた児童を多く見ることができた。現在、ネットによる中傷やいじめが大きな社会問題となっているが、この実践を多くの学校で実施し、積み重ね、改善を図っていけばこのような社会問題も解決していくものと考える。今後は他学年でも発達の段階に合わせ、実践していきたい。